

## 第3学年 道徳学習指導案

平成24年10月31日（水）

- 1 主題名 充実した生き方 1－(5)  
資料名 「きらめけ ぼくだけの音色 ―ピアニスト、辻井伸行―」  
(出典：彩の国の道徳『自分をみつめて』埼玉県教育委員会)

### 2 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする価値について

内容項目1－(5)では、「進路選択という大きな目標に立ち向かう生徒一人一人が、自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。」ことをねらいとしている。それは、小学校5、6年の「自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす。」ことの上に個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとするものである。

自己の向上を願って生きていく上で重要なことは、これまでや現在の自分、そして将来こう在りたいという自分を静かに見つめ直すことである。また、一人一人の人間は姿や形が違うように、人それぞれには必ずその人固有のよさがある。その個性を生かし伸ばしていくことは、人間の生涯をかけての課題でもある。充実した生き方は、そうした自分の人生への前向きな取組を繰り返す中で、おのずと体得される。

中学生のこの時期は、自己理解が深まり、自分なりの在り方や生き方についての関心が高まってくる。「人生いかに生きるべきか」といった命題にも真剣に取り組むようになる。一方で、自分の姿を自らの基準に照らして考えたり、他人との比較においてとらえたりするために、その至らなさに一人思い悩むこともある。したがって、本資料を通して、充実した人間としての生き方についての自覚を深め、自分自身のよさや個性を見いだしていく態度を育てたいと考え、本主題を設定した。

#### (2) 生徒の実態について

省 略

#### (3) 資料について

本資料は、ピアニスト辻井伸行さんの母、いつ子さんが主人公である。いつ子さんは伸行さんの誕生に大喜びをした。しかし、伸行さんが「小眼球」という障害のため全く目が見えないとわかったとき、深い谷底に突き落とされたような大きなショックを受け、育児に疲れきって、精神的に不安定な日々を過ごしていた。そんなとき、視力に障害をもちながらも、マイナスにとらえずに、何事にもチャレンジしている福沢美和さんとの出会いをする。福沢さんとの出会いをきっかけに、いつ子さんは「伸行だから伸行らしく成長してほしい。」「私たちの役割は・・・その背中にフォローの風を吹かせてあげることなのだ……。」と考え方が変わった。いつ子さんが、伸行さんの「らしさ」に目を向けようと前向きに考えられた場面に注目することで、生徒が自己のよさを見いだせると考えた。そこで、資料の一部を空欄にし、そこにどんな言葉が入るのかを各自でじっくりと考えさせたい。その後、小集団での伝え合いにより、他者の考えに理解を深めさらに自己の考え方を明確にさせたい。

### 3 研究主題との関連

#### 研究主題

「豊かな心をはぐくみ、生きる力を育てる道德教育」

一言語活動の充実を図ることで語り合いたくなる道德授業の実践－

言語活動の充実を図るために、本授業では伝え合いの場を設定した。逆境にぶつかったとき、自己否定と他人への八つ当たり、愛する息子に対する否定の渦巻く自己から、自分を持ちこたえ、乗り越えてさらに愛を深めていくすごさに小集団で迫ることはとても難しいが避けたくない。たとえ、訥々とはあっても、その「変化」への期待と希望の思いを生徒に伝え合わせる事が大切な時間だと考える。そのために「話し合い」ではなく、それぞれの思いを「伝え合う」ことでよいと判断した。小集団での伝え合いによって、他者の考えに理解を深め、自己の考え方を明確にすることを意識させたい。最後は個人に戻り、自己の思いを語り合わせたい。

授業を振り返り見つめる活動では、いつ子さんと今の自分の違いやできることは何であるかを考えさせ、自分自身と対話したことを書かせてまとめさせる。そして自己の思いを語らせる小集団での伝え合いから、全体での話し合いに深め、充実した生き方を追求する。

### 4 本時のねらい

社会の中に生きる一人として自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする態度を育てる。

### 5 本時の展開

段階	学習活動（主な発問）	予想される生徒の反応	指導上の留意点と評価（○） ※言語活動の充実
導入	(1) 辻井伸行さんといつ子さんの資料を提示し、興味・関心を喚起する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこかで聞いたこと、見たことがある。</li> <li>ピアニストのお母さん。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「神様のカルテ」の主題歌と写真を活用し、辻井伸行さんといつ子さんについて紹介する。</li> <li>障害を持つ人への偏見にならないようにする。</li> </ul>
展開	(2) 資料「きらめけ ぼくだけの音色 ―ピアニスト、辻井伸行―」を読み、話し合いの方向性をつかむ。 ・主人公の置かれた条件や状況を知る。  ・教師の範読を聞く。 ・話し合いの柱を整理する。	主人公：いつ子さん ・ピアニスト辻井伸行さんの母親。待望の長男の誕生ということで、両親ともに大喜びであった。しかし、他の赤ちゃんと違って、伸行さんだけがいつも眠ったままであることに不安を抱えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>板書等を活用しながら、主人公の置かれた条件・状況を押さえる。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>①伸行さんの目が見えないとわかってショックを受けたとき。</li> <li>②視力に障害をもった福沢美和さんと出会ったとき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主人公の心の動きに着目させながら、教師がコメントをつけて範読する。</li> <li>○本時の課題が理解できたか。</li> </ul>

		<p>③クリスマスの奇跡に始まり、コンクール優勝に至った伸行さんを見て。</p>	
<p>深める</p>	<p>(3) 主人公の気持ちを中めに話し合う。</p> <p>①伸行さんの目が見えないとわかってショックを受けたとき、「いつ子さん」はどんな考えでいたのだろうか。</p> <p>② 資料の ( ) にはどんな言葉が入るでしょう。また、なぜそう思ったのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各自で考えた後、小集団で伝え合う。</li> </ul> <p>③クリスマスの奇跡からコンクールで優勝に至った伸行さんを見て、今、「いつ子さん」は、どんな気持ちだろうか。</p>	<p>・なぜ自分の子どもがこんな運命を背負わなければならないのか。</p> <p>・全盲という事実がショック過ぎて、何も考えられない。</p> <p>・これからこの子とどうやって接していけばいいのだろうか。</p> <p>・福沢さんのように伸行も生き生きと生きてほしい。</p> <p>・障害者という枠にとらわれず、何事にもチャレンジできる人間になってほしい。</p> <p>・明るく毎日を過ごせるよう伸行のよさを見つけ、精一杯サポートしていこう。</p> <p>・福沢さんと出会えてよかった。</p> <p>・『らしさ』を見つけ、取り組んできたことは間違っていなかった。</p> <p>・自分の良さを伸ばしてもっとよくなるように願って生きることは大切である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わが子が全盲と知った主人公の谷底に突き落とされたようなショックを受けたときの気持ちに共感させる。</li> <li>○子どもの将来に対する不安と自分自身の生き方に対する不安で混乱した主人公の気持ちを考えることができたか。</li> <li>・福沢さんとの出会いをきっかけに、子どもが持っている力を引き出すことが親の役割であることに気づいた主人公の生き方を支えた思いを考えさせる。</li> <li>○福沢さんとの出会いをきっかけに、主人公の生き方を支えた思いを考えることができたか。</li> <li>※小集団での伝え合いによって、他者の考えに理解を深め、自己の考え方を明確にする。</li> <li>・大きなショックを受けて、精神的に不安定な日々を過ごしていた主人公が、今は充実した気持ちであることを感じ取らせる。</li> <li>・個性を伸ばすために行動してきたことで、今は充実感に満ちている主人公の気持ちを考えることができたか。</li> </ul>
<p>見つける</p>	<p>(4) 本時の授業を振り返り、自己を見つめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今日の授業で学んだことや今後の生活に生かしたいことをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福沢さんとの出会いがいつ子さんの考え方を変えたのだと思う。目が見えないというハンディを背負った伸行さんはかわりに素晴らしい「耳」を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主人公の気持ちに寄り添いながら考えてきたものを自分に置き換えて、充実した生き方について考えることができたか。</li> </ul>

			<p>もっていた。必ず人にはそれぞれのよさがある。それぞれの人なりに最大限生かしていくことが、人としてのよい生き方である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のできることを一生懸命やることが自分の良さを伸ばすことにつながると思った。</li> </ul>	<p>※自分自身と対話し、自分の考えや今の自分を見つめさせるための書く活動を通して、ねらいとする道徳的価値に迫っていき、自己を語らせる。</p>
終末	はぐくむ	(5) 辻井伸行さんのビデオを視聴する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個性を生かすことは本当に素晴らしいことなんだ。</li> <li>・伸行さんの個性を生かして育てたことに、いつ子さんは充実感を感じているだろう。</li> <li>・自分にはどんな個性があってどんなことができるのだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクールでの伸行さんの演奏と優勝発表の場面を視聴し、個性を伸ばし充実した生き方をする素晴らしさを実感させ、印象深くしめくくる。</li> </ul>

## 6 本時の評価の観点

### (1) 生徒サイドの観点

- ①主人公の気持ちを、しっかりと考えることができたか。
- ②充実した生き方をするために、自分のよさや個性を見いだそうとする意欲がもてたか。

### (2) 教師サイドの観点

- ①資料で、自分自身のよさや個性を見いだして、充実した生き方を追求使用とする態度を育てられたか。
- ②生徒の意見や考えを引き出し、伝え合わせることから自分自身を深く見つめ自己を語らせることができたか。

## 7 事後指導

- ・板書等で活用したものや学んだ内容のキーワードを教室に掲示して、生徒が意識して生活できるようにする。
- ・心のノートP36、37を活用し、お互いの「よいところ」を教え合う取組をとおして、自分の優れている面に気付かせる。
- ・進路学習において、自分のよさや個性を生かした進路選択ができるような指導をする。

きらめけ ぼくだけの音色

いつ子  
写真

- ・ピアニスト辻井伸行の母親
- ・いつも眠ったままであることに不安

ショック

- 伸行さんの目が見えないとわかる
- ・なぜ自分の子どもがこんな運命を背負わないといけないのか。
- ・ショック過ぎて、何も考えられない。
- ・どうやってこの子と接していけばいいのだろう。

○福沢さんとの出会い

- ・生き生きと生きていつてほしい。
- ・何事もチャレンジできる人間になってほしい。
- ・伸行のよさを見つけ、精一杯サポートしよう。

充実

○クリスマスの奇跡やコンクール優勝

- ・福沢さんと出会えてよかった。
- ・取り組んできたことは、間違いではなかった。
- ・もつとよくなるように願って生きることは大切。

できることを一生懸命やることが自分のよさを伸ばすことにつながる

必ず人にはそれぞれのよさがある。それぞれの人なりに最大限生かしていくことが、人としてのよい生き方である。

9 資料分析

資料名 「きらめけ ぼくだけの音色 ―ピアニスト、辻井伸行―」 内容項目 1－(5)  
 登場人物 主人公（辻井いつ子さん） 相手方（辻井伸行さん）

<p>スタートの条件・状況                  ピアニスト辻井伸行さんの母親。待望の長男の誕生ということで、両親ともに大喜びであった。しかし、他の赤ちゃんと違って、伸行さんだけがいつも眠ったままであることに不安を抱えている。</p>	<p>主人公との関わり                  辻井いつ子さんの長男。全く目が見えない。</p>
---	---

【話題につなげたい場面】

【キーワード・主人公の心情】

【話合いの柱】

<p>待望の長男誕生で、両親ともに大喜びだった。しかし、伸行さんには「小眼球」という障害があることがわかった。</p>	<p>→ (夢ならさめてほしい。だれか、この先生が言っていることはうそだと言って。なぜ私のかわいい赤ちゃんがこんな過酷な運命を背負わなければならないの。)</p>	<p>→ 伸行さんの目が見えないとわかってショックを受けたときのいつ子さんの気持ち。</p>
<p>そんな中、いつ子さんは、視力に障害をもった福沢美和さんとの運命的な出会いをした。</p>	<p>→ 『伸行だから伸行らしく』成長してほしい。私たちの役割はその『らしさ』を見つけることであり、その背中にフォローの風を吹かせてあげることなのだ……。</p>	<p>→ 視力に障害をもった福沢美和さんと出会ったときのいつ子さんの気持ち。</p>
<p>その後、伸行さんが二歳三ヶ月になったクリスマスに、奇跡が起こった。</p>	<p>→ いつ子さんがクリスマスソングを口ずさんでいたら、伸行さんが突然ジングルベルの一小節をピアノで弾き出したのです。</p>	<p>→ クリスマスの奇跡に始まり、コンクール優勝に至った伸行さんを見たいつ子さんの気持ち。</p>

【ねらいとする人物像】

社会の中に生きる一人として自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方ができる人間。